

平成 27 年 度

東 京 藝 術 大 学

大学院音楽研究科(博士後期課程)

学 生 募 集 要 項

平成 26 年 7 月

東 京 藝 術 大 学

〒110-8714 東京都台東区上野公園12-8

電 話 0 5 0 (5 5 2 5) 2 3 0 9

27

受験上の注意事項

- (1) 試験実施日時は、出願者数の多寡により多少変更することがある。その場合、平成 27 年 2 月 2 日（月）午後 4 時以降、試験に関する注意事項と同時に新日程を音楽学部内に掲示及び本学ホームページで発表するので、受験者本人が必ず確認すること。（15 頁を参照）
- (2) 試験に関する諸事項は、掲示及び本学ホームページにより発表するので、常に掲示等に注意すること。なお、掲示等に記載された番号は、本学受験票の受験番号である。
- (3) 実技試験における「試験の順番」は、係員の指示に従うこと。
- (4) 試験当日は、定められた集合時刻を厳守すること。なお、実技試験において、定められた集合時刻に遅れた者には、受験を許可しない。（万一やむを得ない事情により遅れた場合は、ただちに係員に申し出ること。）
- (5) 試験当日、受験者（伴奏者を含む）は、試験に関する掲示を確認してから指定された「集合場所及び控室」（5-109 室）に入り、以後はすべて係員の指示に従うこと。
- (6) 不正行為があった時は、当該試験を失格とし、以後の受験を認めない。
- (7) 「集合場所及び控室」での発声または、楽器の練習を禁じる。また、「集合場所及び控室」から試験場へ行く途中の廊下等においても同様に禁じる。
- (8) 音出し室、控室にあるピアノの使用を禁じる。ただし、ピアノ受験者は、係員の指示に従うこと。
- (9) 受験の際は、常に受験票を携帯し、入構の際は、守衛所の係員に提示して入構すること。万一受験票を忘れた場合には、係員に申し出ること。
- (10) 携帯電話及び通信機能を備えた電子機器等の使用を禁止する。もしも持ち込んだ場合は、電源を切ってかばん等に入れておくこと。
- (11) 食事のため学外に出る場合には、正門出入りの際、守衛所の係員に受験票を提示すること。
- (12) 試験に関する電話による問い合わせには、原則応じない。
- (13) 本学に駐車場はない。

目 次

○ 大学院音楽研究科アドミッション・ポリシー	… 1 頁
I 募集人員	… 1 頁
II 出願資格	… 1 頁
III 標準修業年限	… 2 頁
IV 出願手続	… 2 頁
V 願書等提出上の注意事項	… 6 頁
VI 受験票	… 6 頁
VII 障害のある入学志願者の事前相談	… 6 頁
VIII 選抜試験の内容及び日程	… 6 頁
IX 選抜試験場	… 15 頁
X 最終合格者の発表	… 16 頁
XI 入学手続等について	… 16 頁
XII 研究領域及び指導教員	… 17 頁
XIII 個人情報取り扱いについて	… 18 頁
入学願書等提出書類	… 添付
検定料振込依頼書	… 添付

○ 大学院音楽研究科アドミッション・ポリシー

大学院音楽研究科は、高度に専門的かつ広範な視野に立ち、音楽についての深遠な学識と技術を受け継ぐこと、音楽に関わる各分野における創造、表現、研究又は音楽に関する職業等に必要の優れた能力を養うこと、さらには自立して創作、研究活動を行うに必要な高い能力を備えた教育研究者の養成を目的としている。

この教育理念に基づき、本研究科は、音楽に関しての豊富な知見、高度の技術と卓越した研究能力を持ち、なおかつ、幅広い視野や興味・関心、柔軟な感性、独創的な構想力、論理的な思考力、強い意志を持っている人材を求めている。

I 募集人員

専攻	募集人員	研究領域	研究分野	
音楽	25名	作曲		
		声乐		
		鍵盤楽器		
		弦・管・打楽器	弦楽器	
			管楽器	
			打楽器	
		室内楽		
		古楽		
		指揮		
		邦楽		
		音楽文化学	音楽学	
			音楽教育	
			ソルフェージュ	
応用音楽学				
音楽文芸				
		音楽音響創造		
		芸術環境創造		

[注意]

志願者は、1つの研究領域（研究分野）に限り出願できる。

II 出願資格

本研究科（博士後期課程）に出願できる者は、次の各号の一に該当する者とする。

1. 修士の学位又は専門職学位を有する者（平成27年3月までに修士の学位又は専門職学位取得見込の者を含む）
2. 外国において修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者（平成27年3月までに修士又は専門職学位に相当する学位を取得見込の者を含む）
3. 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修し、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者（平成27年3月までに修士の学位又は専門職学位に相当する学位を取得見込の者を含む）
4. 我が国において、外国の大学院の課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了し、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者（平成27年3月までに修士の学位又は専門職学位に相当する学位を取得見込の者を含む）
5. 国際連合大学本部に関する国際連合と日本国との間の協定の実施に伴う特別措置法（昭和51年法律第72号）第1条第2項に規定する1972年12月11日の国際連合総会決議に基づき設立された国際連合大学の課程を修了し、修士の学位に相当する学位を授与された者（平成27年3月までに修士の学位又は専門職学位に相当する学位を取得見込の者を含む）
6. 外国の学校、第4号の指定を受けた教育施設又は国際連合大学の教育課程を履修し、大学院設置基準第16条の2に規定する試験及び審査に相当するものに合格し、修士の学位を有する者と同様以上の学力があると認められた者（平成27年3月までに修士の学位又は専門職学位に相当する学位を取得見込の者を含む）
7. 文部科学大臣の指定した者
 - ① 大学を卒業し、大学、研究所等において、2年以上研究に従事した者で、大学院において、当該研究の成果等により、修士の学位を有する者と同様以上の学力があると認められた者
 - ② 外国において学校教育における16年の課程を修了した後、又は外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した後、大学、研究所等において2年以上研究に従事した者で、大学院において、当該研究の成果等により修士の学位を有する者と同様以上の学力があると認められた者
8. 本研究科において、個別の入学資格審査により、修士の学位又は専門職学位を有する者と同様以上の学力があると認められた者で、24歳に達したもの

- ※ 出願資格2～5により出願を希望する者は、事前に音楽学部教務係へ問い合わせること。
- ※ 出願資格6～8により出願を希望する者は、事前に出願資格審査を受ける必要があるため、至急音楽学部教務係へ必要書類を請求し、平成26年11月14日(金)午後4時までに提出すること。

III 標準修業年限 3年

IV 出願手続

1. 願書受付期間

平成27年1月5日(月)から平成27年1月9日(金)までの郵便局の消印があるものを受け付ける。郵便局の消印が平成27年1月4日以前及び平成27年1月10日以後のもの、また大学に直接持参したものは受け付けないので注意すること。

2. 検定料

① 金額：30,000円

平成27年3月に本学大学院研究科(修士課程)修了見込みの者および、国費外国人留学生は納入不要です。ただし、国費外国人留学生は、「国費外国人留学生在籍証明書」を在籍する大学から発行してもらい、必ず提出してください。

※入学検定料免除制度について

平成23年3月11日に発生した東日本大震災において被災した志願者は、入学検定料の免除を受けられる制度があります。免除を希望する志願者は、入学願書提出前に「入学検定料免除申請書」を提出いただくことが必要です。免除の許可または不許可が決定する前に検定料を納入していただく必要はありません。申請時期などの詳細は本学ホームページ(<http://www.geidai.ac.jp/news/2014061619060.html>)でご確認ください。

② 振込期間：平成27年1月5日(月)～平成27年1月9日(金)

③ 振込方法及び提出書類

下記の(ア)、(イ)、(ウ)のいずれかの方法により振り込んでください。

(ア) コンビニエンスストアでの振込み

- ・3頁の説明を参照の上、振込手続きを行ってください。
- ・コンビニエンスストアで振り込んだ際に受け取る〈取扱明細書〉の「収納明細書」の部分を取り、「入学試験検定料振込金受付証明書提出用紙」に貼付して提出してください。
- ・振込時に、この要項に添付してある「振込依頼書(A・B・C票)」に記載されている「整理番号」(5桁)の入力が必要になります。
- ・コンビニエンスストア内のATMによる振込は受け付けません。必ず指定の端末にて手続きを行ってください。

(イ) 金融機関窓口でのお振込み

- ・この要項に貼付してある「振込依頼書(A・B・C票)」を使用してください。
- ・取扱金融機関は下記の通りです。
都市銀行・信託銀行・地方銀行・信用金庫・信用組合・農業協同組合・ゆうちょ銀行(郵便局)等(金融公庫では振り込みできません)
- ・振込時には別途手数料が必要です。
(三井住友銀行本・支店から振り込む場合は手数料が無料になります)
- ・ゆうちょ銀行(郵便局)での振込はゆうちょ銀行の口座からのみ可能です。詳しくは振込を依頼する店舗にお問い合わせください。
- ・金融機関ATM(現金自動預け払い機)による振込は受け付けません。
- ・振込後に返却されるB・C票のうち、C票について切り離し、「入学試験検定料振込金受付証明書提出用紙」に貼付して提出してください。

(ウ) 外国からの検定料送金について

- ・ 志願者が外国から送金する場合は、下記の要領に従って送金してください。
- ・ 送金にかかる各種手数料はすべて志願者が支払ってください。
- ・ 万が一入金額に不足が生じた場合、出願を受理することは出来ませんのでご注意ください。
- ・ 振り込み後、「外国送金依頼書（送金銀行の受領印またはサイン入り）」の写しを「入学試験検定料振込金受付証明書提出用紙」に貼付し、他の書類とともに提出してください。

送金種類 (Type of remittance)	電信送金 (Telegraphic transfer)
通貨 (Currency)	日本円 (Japanese Yen)
支払方法 (Method of payment)	通知払 (Advice and pay)
円為替手数料 (Yen exchange charge)	依頼人負担 (Due remitter)
被仕向送金手数料 (Remittance charge)	依頼人負担 (Due remitter)
送金目的 (Purpose of payment)	検定料 (Screening fee)
銀行名 (Paying bank)	三井住友銀行 (Sumitomo Mitsui Banking Corporation)
支店名 (Branch)	東京公務部 (Tokyo Koumubu Branch)
スウィフトコード (SWIFT CODE)	SMBCJPJT
銀行住所 (Bank Address)	〒105-0001 東京都港区虎ノ門1-6-12 1-6-12 Toranomom, Minato-ku, Tokyo Japan
受取人口座番号 (Account number)	普通預金151793 (A/C 151793)
受取人 (Account name)	国立大学法人 東京芸術大学 検定料収納口 (Tokyo University of the Arts)
住所 (Address)	〒110-8714 東京都台東区上野公園12-8 (12-8 Ueno-park, Taito-ku, Tokyo Japan)
連絡事項 (Message to payee)	・ 志願者の氏名 (Name of applicant) ・ 受験研究科, 学科 (Name of the department which you are applying)

④ 返還について

願書を受理した後は、次の(ア)、(イ)の場合を除き、いかなる理由があっても振込済みの検定料は返還しません。

(ア) 検定料を振り込んだが、本学に出願しなかった（願書を提出しなかった、または願書が受理されなかった）場合

(イ) 検定料を誤って二重に振り込んだ場合

該当する場合の返還請求の方法は下記の通りです。

便せん等を使用し、下記①～⑦の項目について記入した「検定料返還請求願」を作成し、「収納明細書」又は「C票」を添付して、東京藝術大学会計課経理係（郵便番号110-8714 東京都台東区上野公園12-8）まで郵送してください。

①氏名、②住所、③電話番号、④受験予定の専攻・研究分野、⑤金額、⑥返還請求の理由、⑦振込先の銀行名・支店名・普通口座または当座口座の別・口座名義（カタカナ）・口座番号

※大学から志願者への返還金額は振込手数料を差し引いた額になります。

※返還請求願受領後、返還金の振込まで通常約1ヶ月かかります。

※志願者本人が銀行口座を持っておらず、保護者等の口座に返還を希望する場合は、必ずその旨を書いた委任状を返還請求願と一緒に送付してください。

3. 提出書類

書類名	記入要領等
(1) 入学願書	所定用紙に記入すること。氏名は戸籍と同一文字とする。
(2) 写真票	写真票に貼る写真は、大きさ縦4cm×横3cm、出願前3か月以内に撮影した正面、上半身、脱帽のものとする。
(3) 受験票	受験票裏面の郵便はがきに自己の住所、氏名、郵便番号を明記し、52円切手（速達の場合は332円切手）を貼ること。なお、遠隔地在住者の場合、速達扱いとすることが望ましい。
(4) 入学手続書類送付用宛名ラベルシール	最終合格者への書類送付時に使用するラベル。必ず志願者本人に書類が届く宛先（日本国内に限る。海外在住者は、日本国内の代理人を指定すること。）を記入する。
(5) 修士課程修了（見込）証明書	本学大学院修士課程を修了又は修了見込の者は提出不要。
(6) 修士論文（写し可）	2部提出すること。 （作曲研究領域志願者は、作品提出によること。なお、その際の提出部数は、各1部でよい。〈本要項の8頁を参照のこと。〉） （注1） 本学大学院音楽研究科修士課程修了見込の者は、提出不要である。 （注2） 修士論文が学位取得要件とされていない大学院出身者は、次のいずれかを提出すること。 ① 学位審査演奏等の録画メディア（DVD、VHS）または録音メディア（CD、カセットテープ） ② 当該研究分野に関わる修士論文相当のもの ただし、音楽文化学研究領域志願者は、必ず②を提出すること。この但し書きは、（注1）にかかわらず、本学大学院音楽研究科修士課程修了見込の者にも適用される。 （注3） 音楽文化学研究領域志願者中、当該研究分野と関連をもたない内容の修士論文で学位を修得している者は、修士論文の他に、当該研究分野に関わる修士論文相当のものを併せて提出すること。 （注4） 論文等の研究成果がある場合、参考資料として付け加えることができる。 （注5） 修士論文等が日本語以外で執筆されている場合は、日本語要旨（2000字程度）を添付すること。
(7) 成績証明書	出身大学長又は研究科の長が作成したもの。（本学大学院修士課程を修了又は修了見込の者は提出不要。）厳封すること。
(8) 作品・演奏曲目提出用紙	所定の用紙に記入すること。（音楽文化学研究領域志願者は提出不要。）
(9) 志望理由書	提出は、オルガン、弦楽器研究分野、邦楽研究領域、の各志願者。（400字以内）
(10) 入学試験検定料振込金受付証明書提出用紙	検定料30,000円をコンビニエンスストア又は銀行振込により納入したのち、振込先から受領する「収納証明書」又は「入学試験検定料振込金受付証明書」（C票）を本紙に貼付し提出すること。
(11) 国費外国人留学生在籍証明書	国費外国人留学生の者は、在籍大学に対し、その身分を証明する書面の発行を依頼し、本学に提出すること。
(12) その他	○在職中の者は所属長の受験許可書（様式任意）を添付すること。 ○婚姻等により証明書と現在の姓が異なる場合は、戸籍抄本を添付すること。 ○証明書が日本語以外で記載されている場合は、日本語訳を添付すること。
(13) 提出書類用封筒（別添）	上記(1)～(12)の書類を一括し、願書受付期間内に書留・速達で送付すること。

4. 願書提出先

東京藝術大学音楽学部教務係 〒110-8714 東京都台東区上野公園12-8

V 願書等提出上の注意事項

1. 願書等は、すべて「書留・速達郵便」による郵送受付である。ただし、「作曲作品」、「修士論文及びその写し」については、願書受付期間内に必着することを条件に、願書等とは別便による郵送及び直接持参も認める。
2. 願書等提出後は、いかなる事情があっても書類の変更はできない。

VI 受 験 票

提出書類を完備して提出した者には、受験票を郵送する。受験票が平成27年1月23日（金）までに到着しない場合には、音楽学部教務係へ連絡の上、書留郵便受領書をもって申し出ること。

VII 障害のある入学志願者の事前相談

修学上または入学試験の実施上特別な配慮を必要とする入学志願者は、出願前に音楽学部教務係に申し出て、相談のうえ、出願すること。

また、出願締切以後の不慮の事故による負傷者等においても、速やかに音楽学部教務係と相談すること。

VIII 選抜試験の内容及び日程

1. 選 抜 方 法

入学者の選抜は、専攻（専門）実技、小論文、口述試問、語学、修士論文、志望理由書及び出身大学長（研究科の長）から提出された成績証明書の各資料を総合して判定する。

2. 試 験 科 目

研究領域	試 験 科 目		
作 曲	作品審査及び口述試問	研究計画に関する小論文及び口述試問	語 学
声 楽	専攻実技及び口述試問		
鍵盤楽器			
弦・管・打楽器			
室内楽			
古 楽			
指 揮			
邦 楽			
音楽文化学	専攻分野の論文（修士論文を含む）に関する口述試問		

東京藝術大学 コンビニエンスストアでの入学検定料支払方法のご案内

お申込みの前に お申込みの際に、振込依頼書に印字されている整理番号(5桁)の入力が必要です。 整理番号メモ (5桁)

下記のコンビニエンスストアの端末にて払い込みができます。

セブン-イレブン マルチコピー機

<http://www.sej.co.jp>

最寄りの「セブン-イレブン」にある「マルチコピー機」へ。

TOP画面の「**学び・教育**」よりお申込みください。

学び・教育
↓
入学検定料等支払

LAWSON Loppi **MINI STOP Loppi**

<http://www.lawson.co.jp> <http://www.ministop.co.jp>

最寄りの「ローソン」「ミニストップ」にある「Loppi」へ。

TOP画面の「**各種サービスメニュー**」よりお申込みください。

「各種申込(学び)」を含むボタン
↓
学び・教育・各種検定試験
↓
大学・短大・専門、小・中・高校等お支払い

FamilyMart Famiポート

<http://www.family.co.jp>

最寄りの「ファミリーマート」にある「Famiポート」へ。

TOP画面の「**申込・請求(学び・教育)**」よりお申込みください。

申込・請求
↓
学び・教育
↓
各種(入学検定料等)お支払いサービス

カルワザステーション

<http://www.circleksunkus.jp>

最寄りの「サークルK・サンクス」にある「カルワザステーション」へ。

TOP画面の「**学び・申込**」よりお申込みください。

「学び・申込」
↓
各種(入学検定料等)のお支払い

お申込みの大学 をタッチし、申込情報を入力して「**払込票 / 申込券 / 受付票**」を発券ください。

*画面ボタンのデザインなどは予告なく変更となる場合があります。

コンビニのレジでお支払いください。

- ※端末より「払込票」(マルチコピー機)または「申込券」(Loppi, Famiポート)または「受付票」(カルワザステーション)が出力されますので、**30分以内にレジにてお支払いください。**
- ※お支払い後は「取扱明細書」(マルチコピー機、カルワザステーション)または「取扱明細書兼領収書」(Loppi, Famiポート)を受け取ってください。

*お支払い済みの入学検定料はコンビニでは返金できませんのでご注意ください。
*お支払期限内に入学検定料のお支払いがない場合は、入力された情報はキャンセルとなりますのでご注意ください。
*すべての支払方法に対して入学検定料の他に、払込手数料が別途かかります。

※全コンビニ共通

払込手数料	入学検定料が5万円未満	432円
-------	-------------	------

「取扱明細書」または「取扱明細書兼領収書」の「**収納証明書**」部分を切り取り、**学生募集要項の指示に従って、所定の欄に貼りつけてください。**

切り取った「**収納証明書**」を「入学試験検定料振込金受付証明書提出用紙」の所定欄に貼る。

封筒に必要書類を入れて、郵便局から郵送にて出願。

貼付する場合、「感熱・感圧紙などを変色させる場合があります」と記載のある欄は使用しないでください。「収納証明書」が黒く変色する恐れがあります。

【入試に関するお問合わせ先】 東京藝術大学
 美術学部教務係 TEL 050-5525-2122 / 音楽学部教務係 TEL 050-5525-2309 / 映像研究科教務係 TEL 050-5525-2671
 (受付時間) 月曜～金曜 9:00～12:30 13:30～16:30 ※土曜・日曜・祝日を除く

【操作などのお問合わせ先】 学び・教育サポートセンター <http://e-apply.jp/> ※コンビニ店頭ではお応えできません。

3. 試験科目概要

(1) 専攻実技等

研究領域	研究分野	声 種 楽器名等	課 題 曲 等
作曲			<p>主要作品を提出すること。その際、提出作品の録音を添えてもよい。提出する作品の数は限定しない。(修士作品を提出してもよい。この場合、本学修士課程修了見込の者は、提出不要である。)</p> <p>口述試問は、作品を中心に行う。</p>
音楽		ソプラノ メゾソプラノ アルト テノール バリトン バス	<p>○声楽研究領域志願者は、以下の演奏課題（AタイプとBタイプ）のうち、いずれかを選択し受験すること。なお、オペラ（声楽第5講座）に所属を希望する者は、Bタイプを選択すること。</p> <p>○専攻実技試験の演奏時間の総計はA、B両タイプとも20分以上、30分以内とする。但し、応募状況により変更されることがある。</p> <p>○A、B両タイプとも専攻実技試験においては原則としてピアノ伴奏とするので、志願者は伴奏者を同伴すること。</p> <p>○歌唱は暗譜とする。</p> <p>○出願の際は所定の用紙により曲目を提出すること。(アリア等の曲名については、オペラの題名・役名、冒頭の歌詞を記入すること。)</p> <p>○なお、提出曲目の楽譜を添付する必要はない。</p> <p>○専攻実技試験での指定曲目は、専攻実技試験の2週間前（平成27年1月30日（金）午前11:00以降）に教務係にて通知する。</p> <p>○合格者が所属する講座は入学後に発表される。</p> <p>【Aタイプの演奏課題】 自由曲20曲を提出すること。専攻実技試験においては、通知により指定された曲（複数曲）と志願者が選んだ曲を併せて演奏すること。その場合、演奏時間の総計が時間制限の範囲内となるよう配分すること。</p> <p>【Bタイプの演奏課題】 1. 任意のオペラ2演目を選び、その中から主役または準主役の役を各1役ずつ合計2役を提出する。専攻実技試験においては、指定された箇所を演技付きで演奏すること。その際、椅子、テーブル、簡単な小道具の使用は認める。なお、共演者の同伴については、志願者の随意とする。(共演者は必ずしも暗譜でなくても可)</p> <p>2. 自由曲として、任意のオペラアリア（通常アリアとして扱われるカヴァティーナ、ロンド、ロマンツァ、アリエッタ等を含む。但し、上記1.に含まれないもの。）5曲を提出する。専攻実技試験においては掲示により指定された1曲と志願者が選んだ1曲の合計2曲を演奏する。但し、事情により短縮される場合もある。</p> <p>3. 上記1. 2. の演奏時間の総計が時間制限の範囲内となるよう配分すること。</p>
		ピアノ	<p>演奏時間60分前後の自由曲をリサイタル形式により演奏すること。但し、プログラムに修士修了試験で演奏した曲目を含める場合は、そのうち30分程度までとする。修士修了試験に演奏した曲目の一覧表を提出すること。演奏は、原則として暗譜とする。</p>
		オルガン	<p>演奏時間60分前後の自由曲をリサイタル形式により演奏すること。但し、プログラムに修士修了試験で演奏した曲目を含める場合は、そのうち30分程度までとする。修士修了試験に演奏した曲目の一覧表を提出すること。</p> <p>オルガンの仕様については、教務係に問い合わせること。</p> <p>アシスタントは同伴すること。</p>
鍵盤楽器			

研究領域	研究分野	声 種 楽器名等	課 題 曲 等
弦・管・打楽器	◎弦・管・打楽器研究領域 共通注意事項 ○ピアノ伴奏を必要とする場合は試験当日、伴奏者を同伴すること。		
	弦楽器	ヴァイオリン ヴィオラ チェロ コントラバス ハープ	演奏時間 60 分間前後の自由曲をリサイタル形式により演奏すること。(修士修了試験に演奏した曲目と重複しても可)
	管楽器	フルート オーボエ クラリネット ファゴット サクソフォーン ホルン トランペット トロンボーン ユーフォニアム チューバ	コンチェルト 1 曲, ソナタ 1 曲, その他 1 曲, 計 3 曲の自由曲を演奏すること。
	打楽器		コンチェルト 1 曲, 1 種類の楽器による打楽器 1 曲 (ティンパニ, マリンバ, 鍵盤打楽器を含む。), その他 1 曲, 計 3 曲の自由曲を演奏すること。
室内楽			<ol style="list-style-type: none"> 1. 受験可能な編成は次の通りとする。 「ピアノとヴァイオリン」, 「ピアノとヴィオラ」, 「ピアノとチェロ」, 「ピアノとフルート」, 「ピアノ三重奏 (ピアノとヴァイオリンとチェロ)」, 「弦楽四重奏」, 「木管五重奏」 2. 演奏時間 60 分前後の自由曲 (複数) をリサイタル形式により演奏すること。共演者を同伴すること。楽譜の使用可。「グループでの受験」「個人での受験」のいずれも可能。ただし、「ピアノ三重奏」「弦楽四重奏」「木管五重奏」においては「グループでの受験」のみ可能。

研究領域	研究分野	声種 楽器名等	課題曲等
古	<p>◎古楽研究領域 共通注意事項</p> <p>入学試験で使用できる鍵盤楽器は次の通りである。</p> <p>①チェンバロ（フレンチタイプ 8'8"4 2段鍵盤 FF-f'' a'=415 ヤング第2調律）</p> <p>②チェンバロ（イタリアンタイプ 8'8", 1段鍵盤 C-d'' a'=415 ミーントーン調律）</p> <p>③フォルテピアノ（ワルターモデル FF-g'' a'=430）</p> <p>④オルガン</p> <p>このうちどの楽器を使用するか、作品・演奏曲目提出用紙の下欄（☆）に記入すること。</p> <p>オルガンの仕様については、教務係に問い合わせること。</p> <p>なお、必要なアシスタントは同伴すること。</p>		
		バロック声楽	演奏時間 40 分前後の自由曲をリサイタル形式により演奏する。なおプログラムの一部に無伴奏作品（コラールやグレゴリオ聖歌など）を含めること。また、プログラムに修士修了演奏試験で演奏した曲目を含める場合は最大で 15 分程度とする（出願時に修士修了試験で演奏した曲目の一覧表を提出すること）。必要な共演者は同伴すること。
		バロックヴァイオリン バロックチェロ リコーダー	演奏時間 60 分前後の自由曲をリサイタル形式により演奏する。なおプログラムの一部に無伴奏作品を含めること。また、プログラムに修士修了演奏試験で演奏した曲目を含める場合は最大で 20 分程度とする（出願時に修士修了試験で演奏した曲目の一覧表を提出すること）。必要な共演者は同伴すること。
楽		チェンバロ バロックオルガン フォルテピアノ	<p>1) 演奏時間 60 分前後の自由曲をリサイタル形式により演奏する。プログラムに修士修了演奏試験で演奏した曲目を含める場合は最大で 20 分程度とする（出願時に修士修了試験で演奏した曲目の一覧表を提出すること）。</p> <p>2) 下記の様式による即興演奏を行う。 （課題は演奏の 20 分前に与えられるが練習することはできない。）</p> <p>【即興課題（チェンバロ、フォルテピアノ専攻）】</p> <p>C.P.E.Bach: Versuch über die wahre Art das Clavier zu spielen（東川清一訳『正しいクラヴィーア奏法』全音楽譜出版社）の第 2 部第 41 章「自由なファンタジー」に記述されているやり方になって、当日与えられる数字つき低音に基づいて「自由なファンタジー」を即興する。</p> <p>【即興課題（バロックオルガン専攻）】</p> <p>当日与えられる旋律を定旋律として、下記の 3 楽章からなるフランス古典様式の Suite（組曲）を即興演奏する。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. Plein Jeu（定旋律はペダルに置き、すべて使用すること） 2. Tierce en Taille または Chromhorne en Taille（Taille に置かれたソロ声部の冒頭に、定旋律の冒頭モチーフを使用すること） 3. Basse de Trompette または Dialogue sur Grands Jeux（定旋律の使用は自由）

【予告】

平成 28 年度入試より、古楽研究領域の共通注意事項に以下の項目が加わります。

口述試問の際に、通奏低音（数字付き低音）の基礎的な知識の有無を問う簡易な試問を行うことがある。

研究領域	研究分野	声 種 楽器名等	課 題 曲 等
指揮			<p>1. DVD 審査 願書提出時に受験者本人の指揮による下記課題曲を録画・録音したDVD-Rを提出すること。 課題曲：C.W.v.Weber：Ouverture zur ‘Der Freischütz’</p> <p>※指揮者が受験者本人であることを確認できるようにすること。なお演奏はオーケストラによるものでもピアノ2台によるものでも可とする。 DVD-RはNTSCまたはPALシステムによるものとし、DVD-Rに受験者氏名及び収録日時を明記すること。 審査後、DVD-Rは返却しない。</p> <p>2. レパートリーの一覧表を提出すること。</p> <p>3. バロック、クラシック、ロマン、近代、現代の各時代にわたる作品8曲ないし10曲の自由曲を提出し、試験当日、その中から指定された曲を指揮すること。</p> <p>4. 上記2.の提出した曲についての口述試問を行う。</p>

研究領域	研究分野	声楽器名等	課題曲等
			<p>《邦楽共通注意事項》</p> <p>○各専攻とも下記課題曲3曲の他に、曲種の異なる自由曲7曲を提出し、その中から指定された曲を演奏すること。演奏は原則として暗譜とする。</p> <p>○当該研究分野以外の研究分野で修士の学位を取得した受験者には、邦楽に関する基礎能力検査※を課す。</p> <p>※口述試問（各研究分野に関する専門知識についての審査）</p>
邦楽	三味線音楽	長唄三味線	「靱猿」（二世杵屋勝三郎作曲） 「翁千歳三番叟」（十世杵屋六左衛門作曲） 「一人椀久」（作曲者不詳）
		常磐津三味線	「三世相三社祭礼の段」（四世岸澤古式部作曲） 「竹生島」（五世岸澤古式部作曲） 「太田道灌（上）」（六世岸澤式佐作曲）
		清元三味線	「長生」（初世富本豊前掾作曲） 「幻椀久」（五世清元延寿太夫作曲） 「隅田川」（二世清元梅吉作曲）
		長唄	「靱猿」（二世杵屋勝三郎作曲） 「翁千歳三番叟」（十世杵屋六左衛門作曲） 「一人椀久」（作曲者不詳）
		常磐津	「新山姥」（六世岸澤式佐作曲） 「太田道灌（上）」（六世岸澤式佐作曲） 「式三番叟」（三世岸澤古式部作曲）
		清元	「長生」（初世富本豊前掾作曲） 「幻椀久」（五世清元延寿太夫作曲） 「隅田川」（二世清元梅吉作曲）
	箏曲	山田流	「竹生島」（千代田検校作曲） 「雨夜の月」（初世中能島松聲作曲） 「赤壁賦」（中能島欣一作曲）
		生田流	箏「西行桜」（菊崎検校作曲） 箏「尾上の松」（宮城道雄手付） 三絃「青柳」（石川勾当作曲）
	尺八	琴古流	「真虚霊」（初世黒沢琴古編曲） 「霧海簾鈴慕」（初世黒沢琴古編曲） 「虚空鈴慕」（初世黒沢琴古編曲）
		都山流	「岩清水」（流祖中尾都山作曲） 「寒月」（流祖中尾都山作曲） 「懐月調」（流祖中尾都山作曲）
	能	楽	仕舞 「忠度」 「井筒」 「野守」
	能	楽	囃子 「乱」 「獅子」 「盤渉楽」
	邦	楽	囃子 「英執着獅子」（初世杵屋弥三郎作曲） 「春興鏡獅子」（三世杵屋正治郎作曲） 「操り三番叟」（五世杵屋弥十郎作曲）
	日	本	舞踊

※日本舞踊の使用音源について

指定された音源の入手が困難な場合は、本学音楽学部教務係に連絡してください。

研究領域	研究分野	声 種 楽 器 名 等	課 題 曲 等
音楽文化学	音 楽 学		専攻分野の論文（修士論文を含む）に関する口述試問を行う。 （口述試問に基礎学力及び実技を含めることがある。）
	音 楽 教 育		
	ソルフェージュ		
	応 用 音 楽 学		
	音 楽 文 芸		
	音 楽 音 響 創 造 芸 術 環 境 創 造		

(2) 研究計画に関する小論文及び口述試問

研究の目的及び方法について的小論文（試験時間2時間）を書く。小論文に関して口述試問を行う。（口述試問の際、演奏曲目に関する試問を加えることがある。）

(3) 語学

【語学共通注意事項】					
○各研究領域又は研究分野において指定された語学科目を受験すること。					
○外国人留学生志願者は母国語を選択できない。ただし「音楽学」研究分野志願者は下記に従うこと。					
研究領域	研究分野	受験科目	辞書使用の可否	試験時間	備考
作声 鍵盤 弦管 室内 古	曲楽 器楽 打楽 器楽 内 楽	「英語」・「独語」・「仏語」・ 「伊語」・「露語」より選択 した1科目	可 (但し電子機器の物は不可)	1時間30分 (1科目)	
指	揮	「英語」・「独語」・「仏語」・ 「伊語」・「露語」より選択 した2科目	可 (但し電子機器の物は不可)	3時間 (2科目)	
邦	楽	下記2科目を受験すること。		3時間 (2科目)	
		「英語」・「独語」・「仏語」・ 「伊語」・「露語」より選択 した1科目	可 (但し電子機器の物は不可)		
		「国語古文」	不可		
音楽文化学	音楽学	一般受験生 「英語」・「独語」・「仏語」・ 「伊語」・「露語」・ 「スペイン語」・「ラテン語」・ 「中国語」・「韓国語」・「国語古文」より 選択した2科目。ただし「中国語」・「韓 国語」・「国語古文」は 日本・東洋音楽史志願者 のみ選択可。	不可	3時間 (2科目)	左記以外の言語について、 その言語能力を証明する書類 (様式自由)を出願時に添付する ことができる。ただしその場 合でも左記2科目を受験する こと。
		外国人留学生 次の①②の2科目を受験すること。 ①「現代国語」 ②「英語」・「独語」・ 「仏語」・「伊語」・「露語」・ 「スペイン語」・ 「ラテン語」・「中国語」・ 「韓国語」・「国語古文」より 選択した1科目。 但し「中国語」・「韓国語」・ 「国語古文」は日本・東洋音楽史 志願者のみ選択可。	可 (但し電子機器の物は不可)	3時間 (2科目)	(1) 母国語を選択してもよい。 (2) 左記以外の言語について、 その言語能力を証明する書類 (様式自由)を出願時に添付する ことができる。ただしその場 合でも左記2科目を受験する こと。
	音楽教育 ソルフェージュ	「英語」・「独語」・「仏語」・ 「伊語」・「露語」より選択 した1科目	可 (但し電子機器の物は不可)	1時間30分 (1科目)	
	応用音楽学	「英語」・「独語」・「仏語」・ 「伊語」・「露語」・「スペイン語」・ 「国語古文」より選択 した1科目	不可	1時間30分 (1科目)	
	音楽文芸	「英語」・「独語」・「仏語」・ 「伊語」・「露語」・「スペイン語」・ 「国語古文」より選択 した2科目	不可	3時間 (2科目)	
音楽音響創造 芸術環境創造	「英語」・「独語」・「仏語」・ 「伊語」・「露語」・「スペイン語」・ 「国語古文」より選択 した1科目	不可	1時間30分 (1科目)		

4. 試験日程

日程		27年1月5日(月) ～9日(金)	1月30日(金) 11:00～	2月2日(月) 16:00～	2月4日(水) 10:00開始	2月9日(月) 10:00開始	2月10日(火) 10:00開始	2月12日(木) 10:00開始	2月13日(金) 16:00開始	2月20日(金) 14:00～
作曲	研究領域	作品提出期間		第1次合格者発表 試験日程及び 注意事項発表			「修士論文(提出作品)」及び「研究計画に関する小論文」についての口述試問			
声乐			専攻実技試験 指定曲目発表					「実技」「実技、研究計画に関する小論文、修士論文についての口述試問」	「実技」「実技、研究計画に関する小論文、修士論文についての口述試問」(予備日)	
鍵盤楽器						オルガン 試奏日		「実技」「実技、研究計画に関する小論文、修士論文についての口述試問」(オルガン)	「実技」「実技、研究計画に関する小論文、修士論文についての口述試問」(ピアノ)	
弦・管・打楽器	弦楽			試験日程及び 注意事項発表	研究計画に関する小論文 語学				「実技」「実技、研究計画に関する小論文、修士論文についての口述試問」	
	管打楽								「実技」「実技、研究計画に関する小論文、修士論文についての口述試問」	
室内楽									「実技」「実技、研究計画に関する小論文、修士論文についての口述試問」	
古楽						バロック オルガン 試奏日		「実技」「実技、研究計画に関する小論文、修士論文についての口述試問」		
指揮		DVD提出期間		第1次合格者発表 試験日程及び 注意事項発表						
邦楽										
音楽文化学				試験日程及び 注意事項発表			「修士論文」及び「研究計画に関する小論文」についての口述試問			

最終合格者発表

- (注) 1. この日程は、志願者数等により変更することがある。その場合、変更した日程を平成27年2月2日(月)午後4時以降受験上の注意とともに学内に掲示及び掲示の1時間後に本学ホームページで発表するので、志願者本人が必ず確認すること。
 2. 作曲・指揮研究領域は、提出作品、DVDに基づき審査を実施し、2月2日(月)に第1次合格者を発表する。
 3. 試験日を間違えた場合は、受験資格を失うので十分注意すること。
 4. 合格者発表については、受験番号のみで行なうので、必ず受験票を持参すること。

IX 選抜試験場

東京藝術大学音楽学部 東京都台東区上野公園12-8

交通機関 (J R 線——上野駅公園口、鶯谷駅下車、徒歩約10分)
 (東京メトロ——千代田線根津駅 銀座線・日比谷線上野駅下車、徒歩約15分)
 (京成電鉄——京成上野駅下車徒歩15分)

X 最終合格者の発表

平成27年2月20日（金）午後2時以降、音楽学部内掲示板に掲示及び本学ホームページで発表する。

本学ホームページ (<http://www.geidai.ac.jp/admission/schedule-vesults/music>) でも合格者の受験番号を掲載します。

入学試験実施日程表に示してある最終合格者発表の日時の1時間後（2月20日午後3時頃）に掲載する予定です。

発表前後はアクセスが集中し、つながりにくい場合があります。その際は、時間をおいて再度アクセスしてください。

- (注) 1. 電話・電子メール等による合否等の問い合わせには、一切応じない。
2. 最終合格者には、合格発表と同時に入学手続き書類を発送するので、出願時に「入学手続き書類送付用宛名ラベルシール」を願書と一緒に必ず提出すること。
※宛名は日本国内に限るため、海外在住者は日本国内の代理人を指定して下さい。
※合格したにもかかわらず入学手続き書類が2月27日（金）までに到着しない場合には、音楽学部教務係に連絡してください。
3. 入学の条件

平成27年3月までに修士の学位又は専門職学位取得見込の合格者は、修士の学位又は専門職学位を取得していること。

XI 入学手続等について

1. 手続期間

持参受付：平成27年3月14日（土）及び15日（日）

午前10時から12時、午後2時から5時（14日は午後4時まで）

郵送受付：平成27年3月9日（月）必着

2. 場 所 東京藝術大学音楽学部 東京都台東区上野公園12-8

3. 納 入 金

入 学 料 282,000円（予定額）（平成27年3月本学大学院（修士課程）修了者及び国費外国人留学生は納入不要）

入学手続き終了者が平成27年3月31日までに入学辞退を申し出た場合でも、入学金は返還しない。

* 参考までに、入学者には上記納入金以外に次のような経費が必要となる。

- ・ 学生教育研究災害傷害保険料 2,600円
- ・ 同声会会費（同窓会費） 60,000円（他大学出身者及び本学出身の未納者）

※授業料について

授業料（前期分） 267,900円（年額535,800円）〔予定額〕

（国費外国人留学生は納入不要）

- (注) 1. 4月中旬に保証人宛に郵送される振込依頼書により、4月末日までに納入すること。
2. 前期分または年額（前期および後期分）のいずれかにより納入できる。
3. 在学中に授業料改定が行われた場合、改定時から新授業料が適用される。

XII 研究領域及び指導教員

研究領域	指 導 教 員	研究領域	指 導 教 員	研究領域	指 導 教 員
作 曲	小鍛治 邦 隆 鈴木 純 明 野平 一 郎 林 達 也 安良岡 章 夫		川 崎 和 憲 河 野 文 昭 澤 和 樹 清 水 高 師 玉 井 菜 採 中 木 健 二 永 島 義 男※	邦 楽	〔邦楽囃子〕 盧 慶 順 〔日本舞踊〕 露 木 雅 弥
声 楽	〔独唱・オペラ〕 甲 斐 栄次郎 勝 部 太 川 上 茂 櫻 田 亮 佐々木 典 子 菅 英三子 寺 谷 千枝子 永 井 和 子 平 松 英 子 福 島 明 也 吉 田 浩 之	弦・管・ 打 楽 器	〔管 楽 器〕 小 畑 善 昭 古 賀 慎 治 高 木 綾 子 栃 本 浩 規 山 本 正 治 〔打 楽 器〕 藤 本 隆 文	音 楽 文 化 学	〔音楽学〕 植 村 幸 生 大 角 欣 矢 片 山 千佳子 塚 原 康 子 土 田 英三郎 福 中 冬 子 〔音楽教育〕 佐 野 靖 山 下 薫 子 〔ソルフェージュ〕 テシュネ, ローラン 照 屋 正 樹 〔応用音楽学〕 枝 川 明 敬 畑 瞬一郎 〔音楽文芸〕 大 森 晋 輔 杉 本 和 寛 侘 美 真 理 檜 山 哲 彦 〔音楽音響創造〕 亀 川 徹 西 岡 龍 彦 丸 井 淳 史 〔芸術環境創造〕 市 村 作知雄 熊 倉 純 子 毛 利 嘉 孝
		室 内 楽	市 坪 俊 彦 日 高 剛 松 原 勝 也		
		古 楽	大 塚 直 哉 野々下 由香里		
鍵盤楽器	〔ピ ア ノ〕 青 柳 晋 東 誠 三 有 森 博 伊 藤 惠 植 田 克 己 江 口 玲 角 野 裕 坂 井 千 春 迫 昭 嘉 渡 邊 健 二 〔オルガン〕 廣 江 理 枝	指 揮	尾 高 忠 明※		
		邦 楽	〔三味線音楽〕 小 島 直 文 味 見 純 〔箏 曲〕 萩 岡 松 韻 吉 川 さとみ 〔能 楽〕 関 根 知 孝 武 田 孝 史		
弦・管・ 打 楽 器	〔弦 楽〕 漆 原 朝 子				

(注) ※印の教員は平成27年3月31日に定年退職の予定である。

XIII 個人情報の取扱いについて

独立行政法人等の保有する個人情報の保護に関する法律（以下「個人情報保護法」という。）により、本学が入学者選抜を通じて取得した個人情報の利用については、入学者選抜に係わる業務のほか、次のとおりです。

1. 利用目的について

- (1) 合格者の住所・氏名等の個人情報を入学手続に係わる業務で利用します。
- (2) 入学手続者の住所・氏名等の個人情報を入学後の学籍管理等の修学に係わる業務並びに健康診断等の保健管理に係わる業務で利用します。
- (3) 入学手続者の住所・氏名等の個人情報を入学料並びに授業料徴収等の納付金管理に係わる業務で利用します。
- (4) 入学者選抜で取得した成績等の個人情報を1年次における入学料免除及び授業料免除並びに奨学生選考等の修学支援に係わる業務で利用します。
- (5) 入学者選抜で取得した成績等の個人情報を個人が特定できない形で統計処理等の付随する業務及び入学案内業務並びに本学における入学者選抜に関する調査研究で利用します。

2. 第三者への個人情報の提供について

本学が取得した個人情報は、「個人情報保護法」第9条に規定されている場合を除き、出願者本人の同意を得ることなく他の目的で利用又は第三者に提供することはありません。

ただし、次の場合必要最低限の情報を提供することがあります。

- (1) 上記1.(1)～(5)の個人情報を取扱う業務を、個人情報の適切な取扱いに関する契約を締結したうえで、外部の事業者へ委託する場合
- (2) 本人の利益となる次の学外関係者に情報提供する場合
 - ①音楽教育振興会（音楽学部の教育研究、学生の課外活動などを支援するための学生の父母により組織される会）
 - ②杜の会（美術学部同窓会）
 - ③同声会（音楽学部同窓会）
 - ④東京芸術大学生生活協同組合

東京藝術大学大学院音楽研究科（博士後期課程）

学 生 募 集 要 項

平 成 26 年 7 月 発 行

東 京 藝 術 大 学